

カナダ日本語教育振興会 2011 年度年次大会
CAJLE Annual Conference 2011

「日本語教育文法・コミュニケーション教育を考える」
Exploring on Pedagogical Japanese
Grammar and Teaching for Communication

於 : University of Regina
8 月 5 日～7 日

—後援—

国際交流基金
レジャイナ大学学長室
同文学部
同国際言語学科
UR International

【基調講演】

「コミュニケーション能力を高めるための日本語教育」
野田尚史 (大阪府立大学)

【教師研修Ⅰ】

「まぎらわしい文法の説明法」
ハドソン遠藤陸子 (ミシガン州立大学)

【教師研修Ⅱ】

「コミュニケーション能力を高めるための日本語教材」
野田尚史 (大阪府立大学)

【教師研修Ⅲ】

「日本語のクラスでの区別化した指導：豊かな多様性と限られたリソースを有効に使うには」
片岡裕子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校)

【口頭発表】

1. 現代日本語話者の補助動詞シマウの使い方—機能言語学的視点による—考察—
リグス秀美 (Soka University of America)
2. オノマトペの品詞と事象性に関する考察
虎谷紀世子 (York University)
3. コミュニケーションにおける助詞「は」の習得—認知能力を生かす機能と意識的学習が必要な機能—
遠山千佳 (立命館大学)、橋本ゆかり (お茶の水女子大学)

4. Voice Over IP を利用した遠隔言語学習の実践報告—日本語学習者と英語学習者の協働—
高崎麻由 (Queen' s University)、平田恵理 (福岡女学院大学)
5. Web を活用した香港の日本語学習者と日本の日本語教育実習生の協働学習—「雑談スレッド」の効果—
上田早苗 (The Chinese University of Hong Kong)、中西久実子 (京都外国語大学)
6. ブログを用いた授業活動の一例—コミュニケーション能力の強化を目指して—
宮崎敬子 (University of South Carolina)
7. 日本語教育におけるノダ文の扱いをめぐる—周辺的な用法から中心的な意味へ—
堀内仁 (国際教養大学)
8. 言語処理の発達からみたすだけとシカの習得過程
峯布由紀 (東洋学園大学)
9. 語りの文章における視点の表現とその文脈について
渡辺文生 (山形大学)
10. アニメやドラマを使った韻律指導の試み
柴田智子 (Princeton University)
11. コミュニケーション促進の肯定的フィードバック研究—LARP at SCU コーパスに基づく考察—
陳淑娟 (東呉大学)
12. 内容重視の教育におけるプロジェクト・ワークの読解のストラテジーについて
山下吉友 (Colby College)
13. 日本語学習者のコミュニケーション能力向上に向けて—学習者主体の日本語教育—
鈴木洋子 (武蔵野大学大学院言語文化研究科)
14. 学習者中心と教師中心の授業のバランス—日本語教育におけるコミュニティ・ランゲージ・ラーニングの実践報告—
赤井佐和子 (Huron University College)
15. Online Speaking Test と従来の面接式会話テストの比較評価対象は、文法能力かコミュニケーション能力か
ショー出口香 (Calvin College)
16. Laughter in pair work: its role and pedagogical implications for the Japanese as a foreign language classroom
陳雲川 (University of Hawaii/Graduate Student)
17. 演劇活動を通じた方言指導の実践—交換留学生を対象に—

ローリー・ゼネック西出、柴田あづさ（神戸市外国語大学）

18. 概念メタファーから見るゲーム用語—香港における日本語の地域化—
羅安碧（香港城市大学）
19. 日本企業で働く先輩留学生へのインタビューを活用したビジネス日本語教育
池田朋子（東海大学）
20. Intercultural Communication Education in Japanese language teaching: The Case
Study of Intercultural Communication
何志明（The Chinese University of Hong Kong）
21. Homophony avoidance in Japanese
福島正行（University of Victoria/Graduate Student）
22. マニトバ日系文化センターにおける高校日本語単位コース設置という新たな取り組み
西川照香（マニトバ日加文化会館）